

# 松ヶ崎少年補導だより

下鴨少年補導委員会  
松ヶ崎支部

発行責任者  
支部長 北川 憲一

## 恩師に誓う

京都市立松ヶ崎小学校 校長 北川 知世

菊の花幼稚園緑組、電車の教室。担任は、杉原完子先生。私にとつての初めての先生。

「ちよちゃん、大きくなったら何になりたいの。」

「およめさんです。」

卒園時にいただいたレコードに、そんな会話がいった。

卒園してから、何かあるたびに、先生に手紙を書いてきた。

中学生の頃、将来に悩み、照れくさくて、親にも相談できなかった時にも、先生に手紙を書いた。

今から思えば、とりとめもない内容だったにちがいないけれども、当時の私は真剣。そんな私に、丁寧にアドバイスをしてくださったのは、先生である。

手紙を書くと、すぐに返事をくださる。私のイラストとともに。先生は、絵もお上手。

そして、とっても熱心。それは、今から半世紀以上も前に、先生が作られたミュージカルの発表会をしていたことから分かる。私は今でも、当時先生が作られた歌を覚えていて歌える。きつと、それだけ、先生の強い

思いが、私の心に残っているのだろう。そんな先生だから、私は、先生を頼ったのかもしれない。

すでに、先生も、そして私も、おばあちゃん(?) になっていくのだけれど、未だに、

「ちよちゃん...」

と書いてくださる先生。少々、字が乱れているのは、それだけ先生がお歳をとられたということ。それでも、すぐに返事をくださる先生には頭が下がる。

不安なとき、悩んだとき、困ったとき、相談できる誰かがいるのは、ありがたいこと。そして、必要なこと。

この夏、先生から、暑中見舞いのがきをいただいた。

「どうかこの一年、無事に乗り切られますようお祈りしています。」

と結んであった。涙が出るほど嬉しかった。

そして、今度は、私がそんな存在にと誓う。

ずうっとずうっと、完子先生は、私の恩師。

執筆するにあたり、ご担当の方から、内容はお任せしますと言っていただきました。そのお言葉に甘え、私個人のことを書かせていただきました。お許しください。

日頃、松ヶ崎少年補導委員の皆様には、子ども達の健全育成に向けて、たくさんのお取組をしていただいています。ありがとうございます。

今後変わらぬ、子ども達のために、お力添えをいただきますよう、よろしくお祈り申し上げます。

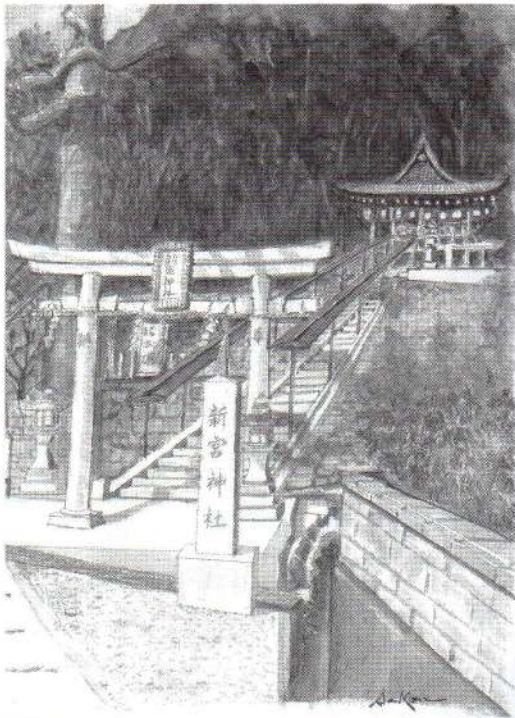
## 少年補導の歌

東 政治郎 作詞  
蔵田 春平 作曲

一、明るい街に 人は和し  
明るい家に 子は伸びる  
大人子供は しっかりと  
心をつなぎ 手をつなぎ  
何でも話す 子になろう  
何でも聞ける 親になろう

二、涙する子は ふいてやり  
迷える子には 道教え  
許し励ます 親心  
子供は親の 鏡なら  
我が子他人の 区別なく  
みんなでも そう補導の光

三、善意はみのある いつの日か  
あの子はかえる 夢さめて  
貫く愛に 真実に  
こたえてくれた 子の笑顔  
その喜びと 使命こそ  
消してはならぬ 補導の灯



正田町 S.S.さん

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

# 保健室から

松ヶ崎小学校 養護教諭 里井 真樹代

「おはようございます。」子どもたちの明るいあいさつに元気をもらって、一日が始まります。

1年半前、『妙法』の「法」の山がこんなに近くにあるのに驚きつつ、松ヶ崎小学校に赴任して来ました。松ヶ崎小学校の子どもたちは、明るく、真面目に何事にも取り組む様子が素敵だと日々の様子や行事の際に感じています。

私は養護教諭として、保健室という教室で、健康診断等の健康管理や、保健指導等の健康教育に携わっています。また、けがの応急手当や体調不良の際の対応も保健室の大切な役割です。子どもたちが「自分の心と体について知り、いのちの大切さや健康について主体的に考え、自分の健康は自分で守れる」ことを目指して、日々の健康面での取組を進めています。

数年前、以前の勤務校でも、けがをした子どもが保健室へ来て、「けがをしたので治してください。」

い。」と言って来ることもありました。この言葉はとてとても嬉しいのですが、心の中では「うーん。けがは自分の体の力が治してくれるんだよ。」「私は応急手当をして、その力の応援をしているんだけど。」と思い、指導へのきっかけとなりました。「自分たちの体には、けがや病気を治そうとする力。自然治癒力が備わっている」ことを各学年に、ミニ保健指導で資料も作成して話しています。その積み重ねで、傷口を自分で水道で洗い、また「けがをしたので見てください。」と自分で言えることが増えました。松ヶ崎小学校でも、この指導はさせてもらい、いつも真剣に聞いてくれる子どもたちの目にやりがいを感じています。

今後子どもたちの健康な発育発達の一助となるよう日々過ごしていきたいと思っています。

# 窓

## 小学生を見守り、見守られて

海尻町 今本史代

寝坊をしたある朝、ピンポイントの音に起こされたおばあさんが玄関に出てみると、四、五人の男の子が立っていて「今日、何で来なかったの？大丈夫？」と心配そうに声を掛けてくれました。いつも信号のところまで立っているおばあさんがいないので、心配して見に来てくれたというのです。元気な姿を見て「良かったなあ。行ってきまーす。」と言ってバラバラと学校に走っていく様子に、見守っているつもりが見守られていたと気付かされた、そうしたお話を新聞の投稿欄で目にし、子ども達の優しい心にいたく感動を覚えました。

そのおばあさんのお年は、何と九十四才。私は七十五才。たかだ

か一年半の新米の見守り人です。緑のジャンパーと黄色い旗を目印に交差点で立っています。小学生は雨にも負けず、風にも負けず、カンカン照りの夏の暑さにも負けず、重いランドセルを背負って登校していきます。しっかりと信号を守っています。たいていの車は、子ども達の通行に注意と思いやりを持って走っています。そして、通勤の人々や大学生、犬の散歩の人達もあたたかく子ども達を見て通ります。しかし、忙しい朝の時間帯、猛スピードで走行する車や信号無視をする車もいます。まさか、のことが、いつも隣り合わせです。私は「子ども達が通行していますよ」という合図をするた

めに車道に目を光らせながら、注意深く立っています。

登校をする子ども達の表情は、毎日違います。それでも、どんな時も一人ひとり一生懸命がんばっていて、その向こうにお父さん、お母さんの一生懸命な姿が見えます。みんなが日々、無事で幸せでありますように、平和な世の中でありたいように。心の中で祈りながら、見守りができる健康に感謝をしつつ、明日も子ども達と会えることを楽しみに見守りに向かいます。



### 令和元年度 いじめ・非行防止標語 優秀作品

支部長賞

勇気出し

ほんとのきもち 伝えよう

六十一 藪 下 惺花

小学校長賞

きらきらと

かがやく言葉 まつてるよ

五十二 曾 我 美 波

PTA会長賞

気付いてね

笑っていても 悲しいよ

六十一 石 本 律 奈

佳作

友達と

なかよくしよう 楽しいよ

五十一 斉 藤 芭 奈

いけないよ

見て見ぬふりも いじめの芽

五十二 岡 田 陽菜乃

ありがとう

小さな声かけ はじめよう

五十二 川 上 来 夏

思いやり

それがみんなの えがおになるよ

六十一 中 野 蒔

「助けてよ」

そう言ってみると 救われる

六十一 河 野 一 輝

考えよう

一人一人の 気持ちをね

六十二 光 原 凛



# 飯ごう炊さん



## 第41回

## 少年を明るく育てる京都大会

### 支部活動 状況報告

前号に引続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

1 三月十八日 松ヶ崎少年補導だより第六十八号を発刊し、三〇〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。

2 五月十二日 支部三役会平成三十一年度当支部の総会の議案、実施日時、年間行事等について協議いたしました。

3 五月二十九日 支部定期総会  
平成三十一年度決算、監査報告、事業報告、平成三十一年度予算案、事業計画案について審議し、満場一致にて決定。

4 六月六日 松寿会総会  
宝ヶ池グランドプリンスホテル京都にて行なわれました。

5 六月十一日 支部役員会  
少年を明るく育てる京都大会、社会を明るくする運動地域集会、飯ごう炊さんの打ち合わせを行いました。

6 六月二十五日 地生連役員会  
六月二十九日 第四十一回少年を明るく育てる京都大会

7 六月二十九日 第四十一回少年を明るく育てる京都大会

8 七月十一日 地生連総会  
七月十三日 第六十九回社会を明るくする運動・松ヶ崎集会

9 七月十三日 第六十九回社会を明るくする運動・松ヶ崎集会

10 七月二十日 飯ごう炊さんとヨーヨーつりの会  
高学年の子供たちが役割分担をして飯ごうでご飯を炊き、カレーを作りました。みんなでおいしく頂きました。その後、

11 同日 いじめ、非行防止標語選考会  
松ヶ崎小学校の先生方のご協力により、五年生、六年生の生徒から応募のあった標語の中から、優秀作品を選びました。

12 七月二十七日 松ヶ崎自治連合会主催の「夏まつり」  
模擬店のお手伝いなど、協賛参加しました。

13 九月九日 松ヶ崎児童館親子まつりのお手伝いをしました。

14 九月二十七日 松ヶ崎少年補導だより第六十九号の編集会議を行いました。  
古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。  
以上ご報告申し上げます。

支部長 北川 憲一

京都府コミュニティ回収  
松ヶ崎少年補導委員会 (隔週発行)  
回収日時 毎月 第4 金曜日  
午後 9:00 までにお出し下さい

夏やに 紙を入れるか、ビデでくんでお出し下さい

（株）トータルエコセンター  
TEL 075-893-8440